

氏名 西 崎 良 知

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学位授与番号 乙 第 6 3 4 号

学位授与の日付 昭和 4 9 年 9 月 3 0 日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者
 (学位規則第 5 条第 2 項該当)

学位論文題目 癌の増殖に関する研究

論文審査委員 教授 大 藤 真 教授 小 川 勝 士 教授 小 坂 淳 夫

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

癌の増殖に及ぼす間質成分及び無菌的炎症の影響を見るために、下記の如き実験を行った。Ehrlich 腫瘍を移植直前に、その移植部にコンドロイチン硫酸、L株細胞抽出液、胎児抽出液、P・V・Pを投与し、その後の腫瘍の発育の程度と屠殺時の腫瘍重量を観察したところ、コンドロイチン硫酸、L株細胞抽出液を投与したものでは対照に比較して明らかに腫瘍増殖が促進された。同様な実験をSareoma180腫瘍において行ったが、その結果はEhrlich腫瘍におけると同様であった。次にEhrlich腫瘍を移植前に局所にクロトン油を投与し、無菌的炎症を作製しそこに移植したところ、無菌的炎症も腫瘍増殖を促進する結果を得た。Ehrlich腫瘍のコンドロイチン硫酸投与及び無菌性炎症による影響を組織学的に検討したところコンドロイチン硫酸を投与したものは対照群より細胞間隙が広く、多源性に発育したように見られ、腫瘍周囲の肥胖細胞の数が多かったが無菌性炎症を起さしめたものでは腫瘍周囲には豊富な結合織を認めその結合織の中に侵潤性に癌細胞が拡っている様子が認められた。又腫瘍周囲の肥胖細胞の数は対照より少ないようであった。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、間質成分および無菌的炎症の癌増殖に及ぼす影響を実験的に観察したものであるが、癌増殖の病理学において重要な新知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。